

## 2019年度 病院医学教育研究助成成果報告書

報告書提出年月日	2020年4月2日
研究・研修課題名	ダビンチサージカルシステム CEトレーニングセミナーへの参加
研究・研修組織名(所属)	ダビンチサージカルシステム CEトレーニングセミナーへの参加 (MEセンター)
研究・研修責任者名(所属)	梅田 宏幸 (MEセンター)
研究・研修実施者名(所属)	梅田 宏幸 (MEセンター) 大澤 弘孝 (MEセンター)

成果区分	<input type="checkbox"/> 学会発表 <input type="checkbox"/> 論文掲載 <input type="checkbox"/> 資格取得 <input type="checkbox"/> 認定更新 <input type="checkbox"/> 試験合格 <input type="checkbox"/> 単位取得 <input checked="" type="checkbox"/> その他の成果(機器管理対応技術)
該当者名(所属)	梅田 宏幸 (MEセンター) 大澤 弘孝 (MEセンター)
学会名(会期・場所)、認定名等	ダビンチサージカルシステム CE トレーニングセミナー
演題名・認証交付元等	Intuitive surgical 合同会社
取得日・認定期間等	2019.5.26 2019.11.30
診療報酬加算の有無	<input type="checkbox"/> 加算有( ) <input checked="" type="checkbox"/> 加算無

目的及び方法、成果の内容①目的

Intuitive surgical 社製の daVinci surgical system を用いたロボット支援手術は2012年4月に前立腺悪性腫瘍手術の内視鏡手術用支援機器加算の保険適応を受け、急速に普及が進んだ。当院でも2012年に daVinci S を導入し、2017年に daVinci Xi に更新、2017年度末までに前立腺がんをはじめ、約300症例の手術を実施した。さらに2018年4月の診療報酬改訂によって新たに12の術式が適用され、今後も daVinci 手術の増加が見込まれる中、より円滑に、安全に手術を実施していくためには、1人ではなく複数による、より深い専門知識・技術が不可欠である。今回の目的は、system の管理 やトラブル発生時の対応に特化したトレーニングを受講ことにより、安全かつ効果的に daVinci 手術を運用する技術を身につけることである。

②方法

Intuitive surgical 合同会社が実施するトレーニングセミナーを受講する。

① ダビンチサージカルシステム CE トレーニングセミナー前期

日時:2019年5月26日(日)9:30～会場: Intuitive surgical 合同会社 大阪支店

② ダビンチサージカルシステム CE トレーニングセミナー後期

日時:2019年3月30日(土)9:45～会場: Intuitive surgical 合同会社 東京トレーニングセンター

③成果

当院での daVinci 手術において、臨床工学技士は、機器選定や電源供給配分、機器配置、トラブル対応などを行っている。今回、daVinci surgical system の管理 やトラブル発生時の対応に特化した CE トレーニングセミナーを受講したことにより、安全かつ効果的に daVinci 手術を運用するための知識・技術を身につけることができた。また、その内容を OPME メンバーで共有することにより今後の指導・教育等を見直すことができた。今後毎年開催されるセミナーに参加し OPME メンバーが daVinci チームの構成要員として、医師・看護師と連携し手術をより円滑に実施できるようにさらなるレベルアップを図りたいと思う。